

# 第一回定例議会報告

五月の臨時議会において、議長をはじめ委員会・特別委員会の構成が新しくなり、今任期の後半の議会活動がスタートしました。その後の定例議会では、渋谷区の抱える様々な課題について区長に提言いたしましたので報告いたします。

今回の代表質問では、防災や障がい者・高齢者福祉、教育などに重点をおいて提言いたしました。

まず防災については、発災直後の応急対策（備蓄品や避難所運営など）だけでなく、今後は復旧・復興期の対応についても取り組んでいかなくてはならないという観点から、従来の生活を取り戻すための第一歩となる羅災証明書の発行手続きに焦点を当てています。

東京都と協議をして新庁舎移転までに「羅災証明発行システム」を構築するよう提言するとともに、都と連携し事前研修・訓練で統一した認定基準を確保するなど、判定する職員のスキル向上を要望いたしました。



高齢者福祉では、地域包括ケアシステム構築の進捗を確認するとともに、在宅サービス（地域密着型サービス）の更なる充実を強く要望し、教育の分野では、小学校の英語教育の教科化やICT教育の全校展開を踏まえ、授業時間の確保と校外授業や体験学習に影響が出ないような対策を要望いたしました。

また、西原スポーツセンターをはじめとするスポーツ施設への指定管理者制度の導入について、関係者の充分な理解を得たうえで区民が安心して快適に利用できるよう要望するとともに、事業者の選定にあたっては、公正で厳正な審査を強く求めております。

本区では様々な事業や取り組みについて評価をいただいておりますが、更なる充実のためにこれからも真摯に取り組んでまいります。



## 地域の青少年活動に携わって！

指導者として長年携わっているボーカウト渋谷第十団が、今年発団五十周年を迎えます。

発団当時は見習いスカウトだった私も、奉仕活動やキャンプなどの野外活動を経験させていただき、成人してからはリーダーとして子どもたちを見守つてまいりましたが、振り返ってみると私もスカウトと一緒に成長させてもらつた感じがいたします。

あらためて先輩リーダーや同じ釜の飯を食べた仲間に感謝したいと思います。そして何より、活動を暖かく支えていただいた地域の方々や関係者の皆様に御礼申し上げます。

十二月には記念式典も予定しておりますが、これからも連合運動会や祭礼などのお手伝いをさせていただきながら、子どもたちの笑顔のために力を注いでまいります。